

なつぽ
ミッション

使命

未来の看護師さんに
写真集『生きる喜び』を
届けたい！

ファンド
基金募集

目標金額 **120万円**

最重度の障害をもって生まれた娘の夏帆が30歳になりました。16歳の時、もう長くは生きられないと感じ、娘のささやかな存在の価値を伝えたいと思い、写真展「生きる喜び」を開催しました。母である私は、夏帆を在宅で育てながら、ライフワークである島とかかわる仕事を続けてきました。夏帆は22歳で胃ろう造設手術をし、27歳で気管切開をしました。

よくここまで生きてくれました。

2016年、相模原の障害者入所施設で46人が殺傷される事件が起きました。その後、障害者排除の風潮が強くなりました。

30歳になった夏帆とともに、差別が厳しくなった社会に対して「障害があっても生きる価値はある」と伝えたいと思います。

夏帆の25年間の「素顔」を伝える写真集『生きる喜び』をこれから看護師になる学生ほか、主に医療・福祉にかかわる人に届けたいと思います。この活動が「夏帆の初仕事」になります。

榊原夏帆

河田真智子(旧姓)

なつぽ
ミッション

基金募集

●3,000円のリターン

「あなた」と看護学校学生に、写真集『生きる喜び』（領布価格1200円）を1冊ずつ送付します。

●5,000円のリターン

「あなた」に1冊、看護学校学生に2冊、写真集『生きる喜び』を送付します。

●10,000円のリターン

「あなた」に1冊、看護学校学生に3冊、写真集『生きる喜び』を送付します。送料などの活動経費を応援していただきます。

●30,000円のリターン

「あなた」に『生きる喜び』と『お母さんはここにいるよ』各1冊送付します。看護学校に『生きる喜び』20冊＋本の上映用CDを1枚、『お母さんはここにいるよ』1冊届けます。

なつぽミッションの進行状況は
フェイスブックページ「生きる喜び」で随時アップします。

*写真集1000部でミッションを終了します。

切手、
カンパも
歓迎！

未来の
看護師さんに

障害があっても満ち溢れる
「生きる喜び」を届けたい！

奄美大島の「学校法人 日章学園 奄美看護福祉専門学校」への寄贈が決まりました(目標 全学生数200名)。
2017年12月、奄美大島で学生へのスライドトークをします。次の受け入れ先も募集します。

